

# フォレストニュース

植林が地球を救う

令和2年(2020)3月10日

No. 147

発行 高津啓洋

## ニームの力を製品化へ

レダをはじめチャコ地方を中心に、奇跡の木と言われるニームの植樹が幅広く行われてきました。インドのアーユルベータ(インド大陸の伝統的医学)によってもニームの薬効は広く知られています。

2007年に青年奉仕隊によって植樹されたオリンポ市の並木はつとに有名で、10年の間に大きく成長し街のシンボルともなっています。また、北部のエスペランサ村やディ

アナ村にもニームの木々が成長し村を訪れる人々の憩いの場となっています。地域の人たちが、ニームを自宅の庭に植えたい時などは苗木を無料で提供してきました。

このニームの木は、パラグアイの緑の会事務局長の伊達勝見さんが、カンボジアから持ち帰り、日本のNPOニーム協会の稲葉真澄会長さんから直接有用なニーム樹種の選定をいただき、レダ周辺だけで2万本ほどが植えられています。

また、レダでは、南北米福地開発協会の管理のもと、地域の人々にニームを活用した健康管理ができればと、ニーム協会

の指導等もいただきながら様々な研究開発が行われています。一般的にニームの種の核を絞ってニームオイル(歯磨きや、石鹸等にも活用されています。またインフルエンザやマラリア患者にも使われています)を取ります。そしてニームオイルをとった縛りかすは、ニームケーキとして農地に漉き込んで土壌改良と線虫等の忌避剤またオーガニック肥料として使います。また葉の部分は、ニーム茶として飲んだり、お菓子に入れたり、お風呂に入れたり健康のための活用分野は広くあります。以下は南北米福地開発協会のfacebookから島田賢二青年局長の許可を得て一部を掲載します。【レダ産ニームクリームを開発!】アメリカの事務局から支援を受け、手

動の搾油機をレダに持って来て、ニームの種子を搾ってできたニームオイルと、養蜂箱から採った蜜蝋(みつろう)を混ぜて、ワックス状のニームクリームを作りました。

ニームは、虫を寄せ付けない効果があり、天然性の防虫剤になることで有名ですが、抗菌・抗炎症・抗酸化・保湿作用もあり薬用や美容にも使われます。

また、石鹸、歯磨き粉、整髪料、マッサージオイルなどに使われるそうですが、今回レダでは「塗り薬」として、初めてのニーム製品を作りました。

蜜蝋は、肌の水分と油を補い保湿し、硬くなった皮膚を柔軟化する作用があるので、美容にも良いでしょう。

レダでは、水虫や虫刺されなどによく効き、シニアボランティアの水落さんが日本でいくつかの病院を回って治せなかった虫刺されを、このニームクリームを使い2日で治せたと言います。

使い方としては、患部を石鹸などでよく洗い、1日に1回から数回ニームクリームを塗り、治るまで使います。

2006年からレダや近隣の村々にたくさんニームを植えてきましたが、長らく活用できずにいました。悲願のニーム製品化が、レダ開拓20周年の年に成されたことに天運を感じます。

## 春季セミナーは5月9日へ

3月28日(土)に予定していました春季セミナーは5月9日(土)に変更となりました

1部 10:00受付、10:15開始  
2部 12:30受付、12:45開始、16:00終了

国立オリンピック記念青少年総合センター

センター棟409号

参加希望の方はFaxやメールにてご連絡ください。



オリンポ市のニーム街路樹